

当園ではこの度、令和元年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

一人ひとりの幼児を大切に、心の豊かさ・明るさ・秩序責任、土と風と太陽に親しみ、より丈夫な身体を育成し21世紀の社会に貢献し得る人格の基礎づくりを指導しています。

協同と自主自立の精神を養う

豊かな情操と感覚を養う

創造性と思考力を養う

健康で明るく、心の豊かさを養う

II. 今年度の重点目標

- 教職員の育成
- 子ども達への指導とかかわり
- 教員同士の情報共有
- 防災訓練の質の向上
- 安全管理体制の強化
- 地域の未就園児親子を対象とした育児支援の充実

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	具体的確認項目	取組み状況
1 教職員の育成	研修などから得た知識を互いに共有し、実践に取り入れて保育スキルの向上を目指す。	B 新型コロナウイルスの影響により研修の数が少なかったが、教員同士での学び合いを通じ園全体での共通理解の促進を図ることができた。
2 子ども達への指導とかかわり	子どもたち一人ひとりの成長に合わせて、教職員全員が柔軟に対応し声掛けを工夫していく。	A 子ども達の様子を日々教員同士で話合うことで、園全体で子ども達の成長に合わせて柔軟に保育することができた。ただし、年長・年中・年少などの学年によって対応が少し違うところも散見され、ゆっくり触れ合う時間が少なかった子ども達もいたと感じている。
3 教員同士の情報共有	意見交換の場を確保するように園全体で努め、引き続き教職員間の意思疎通を円滑なものにしていく。	B 反省会を毎日実施することで、園全体で情報を共有することができた。ただし、経験のある先生たちの意見ばかり通り、新人の瀨院生の意見は園長の耳に届く前に却下されるという場面も多かった。また新人の教員に仕事を教えることも少なく、教員が自分で気づかないままで放置するという場面もあった。

評価項目		取組み内容	取組み状況
4	防災訓練の質の向上	子どもたちの防災意識を高めるため、災害発生に備えた準備や避難方法を再度園内で見直していく。	A 毎月避難訓練があり、月ごとに火事・自身の時の避難の仕方を園全体で取り組み確認ができています。
5	安全管理体制の強化	遊具使用時は教職員が必ず付き添うこととし、園内の点検箇所とルールを定めて安全管理に努める。	A 各職員が散らばり子どもを見守っている。遊具の使用時には職員が付き添うことで遊具でのケガがなくなった。ただし、園庭に出る際は必ず職員も外に出るというルールになっているが、職員室で話し合っていて目が届いていないところもあった。
6	地域の未就園児親子を対象とした育児支援の充実	より多くの方々に来園いただけるようなイベントを実施し、園の取組みを地域へ継続発信していく。	B 今年度は新型コロナウイルスの影響により、園庭開放が中止になることが多かった。しかし、園庭開放ができたときは何名か来て頂き、園の良いところをお話するなどアピールすることができた。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の育成	研修で学んだ知識の今後の取り組みや活かし方などを教職員で話し合い、全体で目に見えるように取り組んでいくことが大切である。
2	子ども達への指導とかわり	どの学年に対してももっとスキンシップをとっていくべきである。また製作や活動も全職員で話し合い、必要なものを効率よく保育できるようにカリキュラムを考え直す必要がある。
3	教員同士の情報共有	新入教員の意見を出す場を増やし新しい視点からの意見を取り入れるべきである。またそのような雰囲気づくりを作っていくことが課題でもある。
4	防災訓練の質の向上	口頭だけではなく、実際に消防隊等の方に園に来ていただき消防車や消火器を見たりしながら話をすると、子どもたちの興味や理解も深まるのではないかと。
5	安全管理体制の強化	遊具や玩具の使い方について職員同士での細かなルールを決め、それを保育で子ども達に説明し危険を知らせることがとても重要である。また全職員が子どもを預かっているということを意識しなければならない。
6	地域の未就園児親子を対象とした育児支援の充実	新型コロナウイルスが落ち着けば、園庭開放以外にも入園説明会の実施など、幼稚園のことを知ってもらうための活動を増やしていくべきである。

V. 学校関係者の評価

<p>新型コロナウイルスの影響で4月、5月と休園になり、6月から令和2年度が始まりました。しかし、1学期の行事、夏休み期間中の行事もすべてが中止になり園生活がどのようになっていくのかとても心配でした。</p> <p>2学期以降も中止になる行事もありましたが、運動会、遠足、発表会などの行事は、時間短縮、規模縮小、分散など、普段とは違う形ではありましたが、子どもたちが楽しく取り組めるように考えてくださったり、その時の状況で出来ることを考えてくださったりして、いい思い出が作れましたし、一年を通してのびのびと楽しく過ごしている姿や生き生きと元気よく登園している姿を見て本当に感謝しております。</p> <p>新型コロナウイルスの影響もあり、例年とは違う中で先生方も大変だったと思いますが、一人一人の子どもと丁寧に接していただきありがとうございました。</p>
--

以上